

理念	活動の主人公を障害のある人自身ととらえ、地域の中でのびのびと暮らしていけるよう、遊びや生活を通して支援していく。		
支援方針	子どもの成長発達していく姿を12年間という長いスパンでとらえ理解する 子どもの内面にある思いを受け止める 仲間との関わり方を大切に集団活動をする		
営業時間	月・水・金…14:00～17:00 木曜…15:30～19:30 土日祝…10:00～16:00	送迎実施の有無	あり

プログラム	支援内容（5領域）		
はじめの会	その日の活動やおやつの内容などを大人を介して子どもが中心になって意見を出し合い、考えていく。その際、自分の気持ちを伝えたり、相手の意見を受け止めて自分の気持ちに折り合いをつけるなどの経験をしていく。 「言語・コミュニケーション」「人間関係・社会性」		
身体を動かす活動	散歩、公園の遊具遊び、プールなどを通して身体を動かし、満足感を得ると共に、運動機能の向上、体力の増進をはかる。 「運動・感覚」		
工作	工作の中で様々な素材や用具（粘土、絵の具、ハサミ、のりなど）に触れ、工程（切る、こねる、塗るなど）を通して、手先の感覚を刺激する。また、イメージを持って作品を作り上げたり、表現することにより、興味や作品への愛着を広げていく。 「運動・感覚」「認知・行動」		
調理	調理の中で、様々な食材に触れ、調理道具を使用することを通して、手先の感覚を刺激していく。また、食への興味を広げ、偏食の改善を促していく。 「運動・感覚」「認知・行動」「健康・生活」		
地域に出て経験を広げる活動	公共交通機関を利用した外出、公共施設の利用、レストランでの食事、買い物の練習などを通して、ルールやマナーなどを意識し、社会と関わる力をつけていく。 「認知・行動」「人間関係・社会性」		
集団遊び	鬼ごっこやかくれんぼ、ボール遊びなど、簡単なルールのある遊びを集団で行なう中で、手順やルールだけでなく、友達の存在を意識し、大人を介したやりとりを通して、友達と互いに心地良く関わっていく力を育む。 「認知・行動」「人間関係・社会性」		
宿泊活動	食事や排泄、就寝や入浴などの生活全体の支援をしつつ、生活リズムや生活習慣を整えられるように家庭と連絡を取り合いながら支援していく。日々の活動全般でも取り組む。 「健康・生活」		

家族支援

日々の活動の引き継ぎ、年数回の面談、保護者会活動を通して、学校、家庭、教室での様子や状況を保護者と共有する。子ども及び家族がよりよく暮らしていけるよう、相談・緊急時の子どもの預かりなどを行なう。

移行支援

支援内容「地域に出て経験を広げる活動」を日々の活動で意識していく。

地域支援・地域連携

地域の人たちからの理解を得るための活動（年1回のふれあいまつり、ウォークラリーなどの行事）や、町会や他団体の催し物への参加を積極的に行なっていく。

職員の質の向上

関係する外部団体の研修会への参加、及び参加の呼びかけ

主な行事等

法人行事 ふれあいまつり、ウォークラリー

教室行事 親子行事、納涼会・クリスマス会などの季節に応じた行事の開催